

植栽・移植後の水やり

植えた樹木は根が切られダメージを受けています。

水切れを起こすと数時間で枯死してしまうのです。

せっかく植えた木を枯らさないため、土が乾いたら活着までは灌水が必要です。

灌水の目安

季節や雨の具合によりますが、土が乾いたらかけるようにしましょう。

葉がダレたら要注意です！！

水やり

乾いた土は水をかけたつもりでも、なかなか浸透しないものです。「水かけ三年」と言われるように、浸み込む水かけが大事です。

1. かけた水が流れてしまわないように、縁を土で高くして水が浸み込むようにします。
2. 最初は水をはじきます。サッとかけて毛細血管現象を促します。
3. 少し時間を置いてもう一度たっぷり水をかけます。
4. 繰り返し3～4回、浸み込む水かけが大事です。

かけ過ぎ、排水不良には要注意です。根腐れで枯死してしまいます。

排水保水の良い植え土に植えることが活着も左右します。

植物は物言わぬ生き物です、観察と処置で死なせないようにご協力をお願いします。



(有) 山村造苑